

令和 6 年度

事業者番号

0462

事業所番号

046204

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	埼玉県新三郷浄水場		
事業所所在地	市区町村	三郷市	
	字・地番	南蓮沼1番地	
産業分類名（中分類）	36 水道業		
分類番号（中分類）	36		
事業活動の概要	事業内容	事業内容 水道用水供給事業 従業員数 44名 送水量 年間109百万m3	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	【第3計画期間】基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	80,772	t-CO ₂	第2区分		
	削減目標量(計画期間合計)	20,193	t-CO ₂			

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
	8,608	8,707	8,859	9,372	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	計 画 期 間				
	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	17,050	17,247	17,429	18,567	
前 年 度 比 （ % ）	—	1.2	1.1	6.5	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ふ っ 化 い お う				
	三 ふ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		17,050	17,247	17,429	18,567

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算（t-CO₂/指標）

	計 画 期 間				
	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位	0.1654	0.1652	0.1658	0.1704	
前 年 度 比 （ % ）	—	-0.1	0.3	2.8	
活 動 規 模 の 指 標	単 位				
生産量	千m ³ /年	103,087.61	104,400.47	105,139.45	108,979.21

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	令和元年度に比べ令和2年度は、他場工事等に係る応援給水により送水量が増加したため、排出量が増加した。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	令和2年度に比べ令和3年度は、送水量が増加したため、排出量が増加した。					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	令和3年度に比べ令和4年度は、送水量が増加したため、排出量が増加した。					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	大久保浄水場西部中央系漏水対応により、長期間応援送水を実施したことで送水圧力が増加し、原単位が悪化した。 加えて、同漏水対応で送水量も増加したため、CO2排出量が増加した。					
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	20,193	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量（t-CO ₂ /年）
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

（排出量等の単位：t-CO₂）

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	20,193	20,193	20,193	20,193	20,193	100,965
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 ($C = \sum A - D$)						80,772
	排出削減目標量 ($D = \sum (A \times B)$)						20,193
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	17,050	17,247	17,429	18,567		70,293
	削減率 ($F = (A - E) / A$)	15.56%	14.59%	13.69%	8.05%		—
	排出削減量 ($G = A - E$)	3,143	2,946	2,764	1,626		10,479
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	未実施		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)	
	区 番	分 号	区 分 名 称					
			大 区 分中 区 分					
1	330200		空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	本館空調設備の更新		R1以前	24.0
2	310500		一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	オゾン接触池流入弁開度の適正化		R1以前	618.0
3	380700		照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	場内外灯照明のLED化		R1以前	48.0
4	310500		一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	中間ポンプ井の通常運転水位上昇	R3	R3	163.2
5	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	PC循環ポンプ運転時間の短縮	R5	R5	17.0
6	310100		一般管理事項	31_推進体制の整備	新三郷浄水場優良大規模事業所認定に向けた取り組み	R5	R5	
7	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	三郷支線逆流運用による送水最適化	R6		
8	380700		照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	場内照明設備のLED化	R6		58.1
9	340500		発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	太陽光発電設備の設置	R7以降		220.0
10								
11								
12								
13								
14								
15								

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

